

第21回日本経済新聞社「環境経営度調査」

小売・外食部門で2年連続1位を獲得

株式会社そごう・西武は、日本経済新聞社実施の第21回環境経営度調査(※1)において、環境経営推進体制、汚染対策・生物多様性対応、資源循環、温暖化対策という4つの評価項目のうち3項目で100点、残る1項目も99点と各項目で高い評価をいただき、小売・外食部門ランキングで2年連続、3度目の1位を獲得いたしました。

そごう・西武は、夏場のクールチョイス・クールビズの訴求や持続可能な水産物(アラスカシーフード)の訴求など、本業と環境対策の一体化を推進した取り組みを継続しております。また、お客さまとともに取り組む、植樹・育樹活動や、リユース・途上国支援につながるこども靴の下取り、お客さまの憩いの場・CO2削減につながる場所として、公益財団法人都市緑化機構「屋上・壁面緑化技術コンクール」の日本経済新聞社賞も受賞した西武池袋本店の屋上「食と緑の空中庭園」など、さまざまな取り組みで高い評価をいただいております。

今後もお客さまや地域のみなさまとともに「次世代に続く豊かな暮らしづくり」に取り組んでまいります。

※1 環境経営度調査:日本経済新聞社が1997年より実施の、環境対策と経営効率の両立に取り組む企業を評価する調査。
今回は、製造業1724社、非製造業1357社を対象に、2017年8月から11月に実施。



グリーンラッピングは80件の受注で1本の植樹につながる。



2017年、クールチョイス・クールビズの一環として、-5cm 丈のパンツを提案。



持続可能で環境にやさしいアラスカ産シーフードの認知拡大と販売を図る。



「屋上・壁面緑化技術コンクール」で、西武池袋本店屋上が日本経済新聞社賞を受賞。